

第32回 日本ナショナル・ミュージック・キャンプ

# ジュニア・フィルハーモニック・オーケストラ サマー・コンサート 2014



2014年 8月9日〔土〕 14:00開演  
東京芸術劇場 コンサートホール

ヨハン・シュトラウスII: 歌劇「こうもり」序曲

ワーグナー: 歌劇「タンホイザー」より「夕星の歌」

ベッリーニ: 歌劇「夢遊病の女」より「親しい友よ」

ヴェルディ: 歌劇「ルイザ・ミラー」より「穏やかな夜には」

ヴェルディ: 歌劇「ドン・カルロ」より「カルロよ、聞け」

ドニゼッティ: 歌劇「ランメルモールのルチア」より「彼の優しい声が」

ヴェルディ: 歌劇「仮面舞踏会」より「立て! ~おまえこそ心を汚すもの」



ストラヴィンスキー: バレエ音楽「ペトルーシュカ」

指揮: キンボー・イシイ、黒木 岩寿

ソプラノ: ハレ・ゾナー、テノール: 宮里 直樹、バリトン: カタール・カラゲディック

演奏: 日本ナショナル・ミュージック・キャンプ参加者によるオーケストラ

※ミュージック・キャンプ参加者募集中! [申込締め切り 7/7(月)]

詳細はホームページ (<http://juniorphil.com>) をご覧になるか、ジュニア・フィルまで募集要項をご請求下さい。

S席: 2,500円 A席: 1,500円 ※未就学児の入場はご遠慮ください

〈主催: お問い合わせ・お申し込み〉ジュニア・フィルハーモニック・オーケストラ info@juniorphil.com Tel.03-3748-5441 Fax.03-3748-5442

〈プレイガイド〉チケットぴあ 0570-02-9999 <http://t.pia.jp> [Pコード: 233-828]

協賛: ローム株式会社

特別後援: 住友商事株式会社

# ジュニア・フィルハーモニック・オーケストラ サマー・コンサート 2014

ジュニア・フィルハーモニック・オーケストラ



1972年に作曲家、そして指揮者であった塚原哲夫によって創立されました。青少年による優れた演奏を成すことを第一の目的とし、創立以来300回近くに及び活発な演奏活動を行う、日本で最も歴史のあるユース・オーケストラのひとつです。国内での演奏活動の他、国際親善を目的としての海外公演、並びに指導者等の招聘も積極的に行っています。  
http://juniorphil.com

1972年 朝日新聞社主催、朝日ジュニア・オーケストラを母体として10才から20才の86名の団員が集まり組成。  
1974年 英国で開かれた「国際青少年オーケストラ祭」に文部省他の後援を得て日本代表として参加。  
1975年 エリザベス女王陛下御前演奏  
1977年 米親善演奏旅行。日本人としてはじめてホワイトハウスで演奏会を行うなど、各地で成功をおさめる。  
1978年 第1回日本ナショナル・ミュージック・キャンプ開催。「第九」のリハーサル中に音楽監督、塚原哲夫が急逝。  
1982年 創立10周年を記念してヨーロッパ演奏旅行。  
1988年 創立15周年を記念して中国親善演奏旅行。  
1992年 創立20周年を記念して米親善演奏旅行。カーネギーホール等の演奏で大好評を得る。  
2003年 創立30周年を記念して、英国、チェコ演奏旅行。  
2008年 創立35周年を記念して中国親善演奏旅行。  
2014年 第48回定期演奏会(第56回住友商事ヤング・シンフォニー)をサントリーホールにて開催。

ジュニア・フィルハーモニック・オーケストラは1992年より住友商事株式会社の支援を受けています。



## 指揮：キンボー・イシイ

幼少期を日本で過ごしヴァイオリンを風岡裕氏に学ぶ。12歳で渡欧、ウィーン市立音楽院でワルター・バリリ、さらにジュリアード音楽院にてドロシー・ディレイ、ヒュー・カンの各氏に学んだ後に指揮に転向。1992年より小澤征爾、マイケル・チャーラー、小松長生の各氏に師事。1993年、95年のタンゲルウッド音楽祭に奨学生として参加しサイモン・ラトルに師事。1995年、デンマークで開催されたニコライ・マルコ国際指揮者コンクールで4位に入賞。2006年よりニューヨーク州カウガ室内管弦楽団の音楽監督を務めた後、2007年よりアマリコ交響楽団(テキサス州)第16代音楽監督に就任。また、2006年よりベルリン・

コミッシェ・オーバー(KOB)の首席カベルマイスターとして質の高いパフォーマンスを披露し、その後も客演としてKOBとの関係が続いている。日本でもNHK交響楽団をはじめとする主要なオーケストラへ客演。  
2009年4月より、大阪交響楽団の首席客演指揮者、2010年12月より、ドイツ・マルデブルク歌劇場音楽監督。  
2010年、「第9回齋藤秀雄メモリアル基金賞」指揮者部門受賞。



## 指揮：黒木 岩寿

東京芸術大学卒業、同大学院修士課程修了。1987年安宅賞、1988年福島賞受賞。ハケ岳高原音楽祭、霧島国際音楽祭、ゆふいん音楽祭等々参加。1989、92、94年ポーランド・ウィニアフスキー音楽祭、1992年バルセロナ・カタロニア音楽祭出演。小林研一郎指揮、読売日響、ドイツの重鎮ハンス・マルティン・シュナイト指揮、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、沼尻竜典指揮、トウキョウ・モーツァルト・プレーヤーズと協演。1990-2004年まで東京芸術大学管弦楽研究部非常勤講師。2001-2008年まで神奈川フィル首席奏者。2009年東京フィルハーモニー交響楽団に移籍、首席奏者に就任。

東京フィルの活動の他にトウキョウ・モーツァルト・プレーヤーズ、ラ・ストラヴァガンツァ東京主宰。兵庫県芸術文化センター管弦楽団(PAC)にも出演している。室内楽ではマルタ・アルゲリッチ、ミッシェル・マイスキー、ユリー・バシュメット、モリス・ブルグ、ジョセフ・リン、イヴリー・ギトリス等と共演。桐朋学園芸術短期大学、洗足学園音楽大学、昭和音楽大学講師。また、映画音楽(おくり人の録音は記憶に新しい)やコマーシャル、ドラマ等、ジャンルを越えたパフォーマンスで活動中。また、自らの企画と台本の「文化人類学講座」は好評を博している。



## ソプラノ：ハレ・ゾナー

ハレ・ゾナーはイスタンブールに生まれ、トルコのミマル・スィナン音楽院で学ぶ。在学中よりリサイタルやコンサートで歌い、イスタンブールのジェルム・レシット・レイ・オペラや国立オペラ座に、モーツァルトの「フィガロの結婚」のスザンナ役、「魔笛」の侍女役として出演した。2004年、イスタンブールのシーメンス・オペラ歌手コンクールにて第1位を受賞、カールスルーエ・バーデン州立歌劇場のオペラ・スタジオに招かれる。2008年、トルコにてBelkis Aran賞、第4回Duchi d'Acquaviva コンクールLina Pagliughi特別賞を受賞。これまでイタリアのTeramo-Atri Duchi d'Acquaviva フェスティバルをはじめ、北キプロス・

フェスティバルやイスタンブール・フェスティバル、フィンランドのミッケリ、サヴォンリナにてミッケリ室内管弦楽団のコンサートに出演。2010年よりマクデブルク歌劇場のアンサンブルメンバーとして活動、レパートリーはヴィオレッタや、ドニゼッティ「マリア・スチュワルダ」の主役マリア、「後宮からの誘惑」コンスタンツェ、「ランメルモールのルチア」など。ゲスト出演としては、ボローニャ市立劇場(「清教徒」エルヴィラ)、ボン・オペラ劇場、サンクト・マルガレーテン・フェスティバル(「ドン・ジョヴァンニ」ドンナ・アンナ)。2013-14シーズン、マクデブルクにて「夜の女王のアリア」も初演の予定。



## テノール：宮里 直樹

ヴァイオリニストの両親からヴァイオリンの手ほどきを受け、ジュニア・フィルに入団。高校3年生で歌に目覚め、オペラ歌手として歩み始める。東京芸術大学声楽科を首席で卒業。大賀典雄賞、松田トシ賞、アカンサス賞、同声会賞受賞。同大学大学院修士課程修了。第81回読売新人演奏会に出演。読売日響、日本フィル、東京フィル他、国内の主要なオーケストラと共演。ヘンデル「メサイア」、ベートーベン「第九」、バッハ「口短調ミサ」、モーツァルト「戴冠ミサ」、メンデルスゾーン「聖パウロ」、ヴェルディ「レクイエム」等のテノールソロを務める。2011年12月22日、外務省主催の天皇誕生日祝賀会にて国歌独唱。佐藤真作曲コンサートオペラ

「ディオニュソス」初演にてキツ役、東京芸術大学大学院オペラ定期にて「ドン・ジョヴァンニ」ドン・オッターヴィオ役を務めた他、数多くのオペラに出演。第48回日伊声楽コンクール第1位。五十嵐喜芳賞、歌曲賞受賞。第10回東京音楽コンクール声楽部門第2位(1位なし)と聴衆賞受賞。第62回全日本学生音楽コンクール声楽部門大学一般の部全国大会第2位と横浜市民賞受賞。第29回ソレイユ音楽コンクール第1位、音楽現代新人賞受賞。第14回長江杯国際音楽コンクール声楽部門大学の部第1位、中国駐大阪総領事賞受賞。第28回アジア国際音楽コンサートにて金賞、テノール特別賞受賞。これまでに、市村香枝、藤澤佑一、多田羅道夫の各氏に師事。



## バリトン：カタール・カラゲディック

カタール・カラゲディックは、若くして、すでに20近くの主要なバリトンの役を舞台で演じている。そのレパートリーは、ドン・ジョヴァンニ、ボーザ公爵、シモン・ボッカネグラ、ジェルモン、エフゲニー・オネーギン、エスカミーリョ、「ランメルモールのルチア」エンリコ、シャープレス、「清教徒」リカルドなど。ボローニャ市立劇場をはじめ、トルー・デル・ラーゴ・ブッチーニ音楽祭、ライプツィヒ歌劇場、エアフルト歌劇場、マクデブルク劇場、フライブルク劇場、アウクスブルク劇場他に出演してきた。これまでに、ドイツの国際歌唱コンクールDEBUTにて第1位及びLied Plize、レイラ・ゲン

チャー(Leyla Gencer)・コンクール第2位、Competizione Dell' Opera第3位など、13の個人賞を受賞。1984年トルコ生まれ。声楽、作曲、指揮を故郷イズミール、及びボローニャ歌劇場オペラ学校にて学ぶ。2009年、マクデブルク歌劇場のアンサンブルメンバーとなる。2013-14シーズンよりエアフルト歌劇場と契約、シモン・ボッカネグラ、エフゲニー・オネーギン役でデビューした。

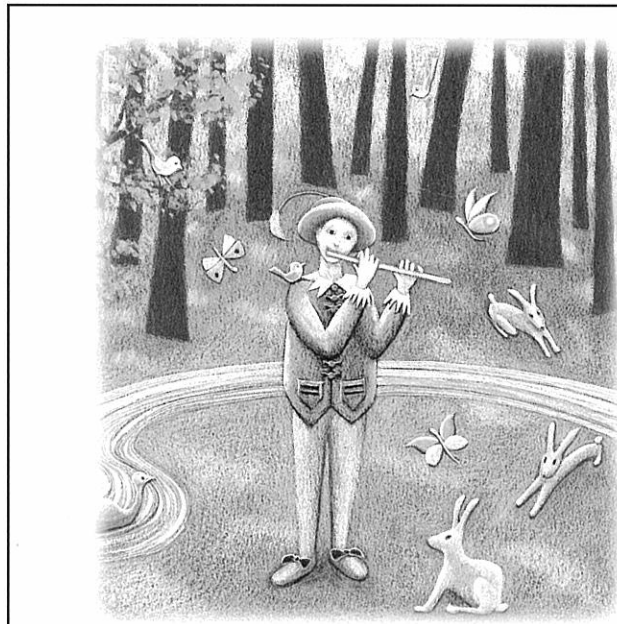


Illustration copyright © Maria Battaglia / Illust-Euro

美しいひびき、感動にみちた  
音楽との出会いをお届けします。

Rohm Music  
Foundation  
ロームミュージックファンデーション

